



なはセン通信

Vol. 46



なは市民活動支援センター
(那覇市市民文化局まちづくり協働推進課)
〒900-0004 那覇市銘苅 2-3-1
なは市民協働プラザ 2階
(2020年3月発行)



なは市民協働プラザ 地下駐車場の有料化開始!

3月2日より、なは市民協働プラザの地下駐車場が有料となり、2時間以内の出庫制限はなくなりましたが、公共交通の利用促進もよろしくお祈いします。

ナハメカルパーキング (71台) & なは市民協働プラザ地下駐車場 (39台) (合計 110台)

24時間駐車可能 (ただし、24時~6時は入庫不可)

なは市民活動支援センター利用駐車料金	
最初の2時間まで	100円
2時間を超え1時間ごと	100円

例: 3時間ご利用の場合は200円

(注) 減免手続きが必要です。駐車券を2階管理事務室へお持ちください。

基本料金 (一般)	
最初の1時間まで	300円
1時間を超え30分までごと	100円

例: 3時間ご利用の場合は700円



「なは市民活動支援センター利用」の例

- センター内で実施される会議や講座などに参加
- 支援ブース、事務室の利用 (一部例外あり)
- 印刷室、交流スペース、情報スペースの利用
- 行政関連団体実施事業に参加

「なは市民活動支援センター」近隣公共交通について

- バス 系統10番「なは市民協働プラザ前」 徒歩30秒
系統8番「メカル1丁目」 徒歩5分
系統11番・55番・56番「古島」 徒歩7分
系統99番「国際高校前」 徒歩10分
系統33番・88番・90番・98番・112番
「興南高校前」 徒歩10分
- 沖縄都市モノレール
「古島駅」 徒歩7分 「おもろまち駅」 徒歩20分



3月は、利用団体登録更新月です!

当センターは、市民による自主的で営利を目的としない協働によるまちづくりのための施設です。

- 市民活動団体とは…参加者が自主的に集まり、地域課題や社会問題に取り組む、営利を目的としない団体
- NPO、NGOとは…社会課題解決や公益的な目的のために存在する、非営利の組織

利用登録団体の皆様へ

次年度にむけて、更新手続きの案内をお送りしておりますので、
3/27 (金) までに提出くださいますようお願い致します!



センターで活動されている皆さまの交流の場として活用ください!

第38回 Fun日カフェ開催! 3/27(金)

12:00~15:00

フード&物資ドライブ(ご家庭で余っている食品や日用品の寄付)も同時に受け付け!

※新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため、中止となる場合もございます。



FUNNACHI COFFEE





スタートアップ講座（後期） 実施しました！



「NPOの現場を知り、体験し、自分の活動につなげる」ことをテーマに実施しているスタートアップ講座（後期）。第1回目は2/13（木）は、まちなか研究所わくわくの嘉数氏による『NPOについて学ぶ』をワークショップを交え、実施しました。

第2回目の2/18（火）は「活動の現場を体験する」ということで、わらびの会が運営する『がじゅまるの家』へ伺い、現場の様子を直に感じながら、儀間事務局長と久場川氏よりお話しをいただきました。



『がじゅまるの家』は、離島や遠方から子ども医療センターで治療を受ける病児やその家族が、安心して宿泊するための施設で、運営しているスタッフのやりがいや苦勞を肌で感じる事が出来ました。

現場を知る事は受講生の方々のリアルな学びとなり、自身の活動に繋がるものと思います。

季節のお飾り♪



エコットの宮島さんより季節のお飾りが届きました。

今月の管理事務室の受付は、4組のお内裏様とお雛様。そして2組の三人官女。いつに増して華やか♪

一つ一つのお人形から穏やかで優しい空気が漂い、作り手の愛情が深く伝わってきます。ご来館の際には優しい表情を是非ご覧ください。

Ps,私のような独身女性職員のために、展示終了期厳守となるかもしれませんよ！お早めに！

ロータリーデーinNAHACITY 参加しました！

2/11（火・祝）
国際ロータリーデー
に参加しました！

国際通りの清掃活動ののち、パレット前広場に、たくさんの方の来場者に、まちづくり協働推進課（なは市民活動支援センター）のPRもしかり行ってきました！



ボランティア受入れ連続ワークショップ 実施しました！

地域づくりに繋がるようなボランティアが欲しいけれど、どうやって受け入れたらいいの？

そのようなお悩みをお持ちの団体のみなさまむけに、プロセスやコツをお伝えする講座「ボランティア受入れ連続ワークショップ」の第1回目を、2/20に開催しました。

講師は、まちなか研究所わくわく事務局長の宮道氏。申込者から頂いた「ボランティア受入れで困っていること」を取り入れて、座学やワークを行いました。講座後半には5名の受講生がボランティア受入れプログラム作りの賛同者を募り、次回の講座へ向けて思いシェアし、終了しました。

アンケートでも満足度が高く「簡潔明瞭に仕組みがわかった」「ボランティアへ感謝を伝える事が大切と知った」などの感想がありました。



センター情報&情報コーナー

なは市民活動支援センターが入居する「なは市民協働プラザ」ですが目立たないのか、平成27年に開館した後もタクシーで行き先を告げてもわかってもらえず「元の銘苅庁舎まで」と言わなければならない、中にどういった施設が入居しているのかも…。

そこで！遠くからも、歩行者からもわかりやすいように、施設のカラーに合わせた看板を新しく設置しました！当センターはグリーン！

これで「建物の前まで来ているのにわからない…」は解消できたと思います。

また、2階管理事務室前の情報コーナーの様様替えも実施し、図書コーナーの書物が手に取りやすくなったと思います。ぜひ、遊びに来てくださいね！





シリーズ第11弾!

「何をしているトコですか?」

「知らないことは人に聞か
せ、モットーに過ぎてきたあたくし...
自分で調べると、情報迷宮から
出られなくなってしまうんです。
ですから、教えてください...」



当センターの3階には、まちづくりに関わりの深い団体が入居し活躍されています。
そこで、それぞれの団体の活動内容や、今後の目標などをここで紹介していきたいと思ひます。

那覇市婦人連合会

—「那覇市婦人連合会」とはどういった組織ですか?

昭和22年に、那覇・首里・真和志・小祿に婦人会が発足して、戦後、県民全体の生活が成り立ち始めた辺りから、今度は婦人の力で生活を改善といひますか、盛り上げよう!という意図で活動が始まったんです。成人した女性は、結婚して専業主婦というのが殆どで婦人会という組織じゃないと、個人で社会教育といひますか、生涯学習的な事はなかなか難しかった。

昭和33年に市町村合併で「那覇市婦人会」が発足して、昭和52年に「那覇市婦人連合会」と名称を改めました。この時がいちばん、会員数も多くて、3000人くらい。25支部全体でそのくらい在籍していました。

それから、女性の社会進出が進んで生涯学習も婦人会以外でも参加出来たりするようになりましたからね、現在は10分の1(10支部、350人)くらいまで減ってしまっていますが、活動はまだ盛んです。



—どういった活動が中心となりますか?

全国、九州地区などの研修会に参加して地域づくりや、社会問題解決について学んだり、環境保全のために、廃油を使ったエコな石鹼を作ったり、石鹼づくりの指導もしたりしています。

他にも大きな事業が3つほどありまして、9月に開催される「婦人の主張大会」は、各支部、那覇地区で予選をやって、沖縄県の大会に出場します。那覇市婦人連合会からの代表が過去に県知事賞を取った事もありますよ!8分間、原稿を読まずに暗記して発表するんですから、それまでは大変ですけど達成感には他に代えがたい経験ですね。

また、パレット市民劇場で「那覇市婦人連合芸能大会」を実施して、那覇大綱引きまつりの前夜祭に出演もします。そして「交通安全母の会」として、8月の交通安全期間に黄色のハンカチーフを肩にまいて、街頭でドライバーや歩行者に交通安全を訴えます。猛暑の中、大変ですがとても大切な事ですから、毎年欠かさず実施しています。

—今後の目標などありましたら聞かせてください。

生活改善の一環として家庭の不用品を持ち寄ってバザーを実施していたんです。不用になった日用品や衣服を捨てるのではエコの観点が大きいですけど、これまでやっていた会場(那覇市民会館)が使えなくなってしまって、そういった会場を探しています。

他に、エコ石鹼の普及ですね作りかたを指導したくても、苛性ソーダ使っつくるので煙が発生するんです。なので、屋外で作業が必要ですから、家庭で簡単にというわけにはいかない。そうすると、やはり屋外でも作業できる会場が必要なんです。

また、この石鹼のデザイン性を高めて、ノベルティーとして利用いただけるようにしたいんですよ。デザインって言ったら、また別の得意な人も探さないといけませんけど...私では無理ですから(笑)

あとは会員を増やしていきたいですね。明るく楽しい婦人会がモットーですからね、友達作りにでも活用していただきたいですね。



『「あぶないと 子を叱るより
手をひこう」
とても好きな言葉です。
既婚でも独身でも、遊びに来てね』

赤嶺 恵子 会長

婦人会は成人した女性は皆さん対象とのことですが、明るくてとても温かな会長のお話しぶりに癒され「ああ、なんか実家に帰ってきたみたい...」と感じるほどリラックスしてしまい「おしゃべりしに来るだけの人もいるよ」の意味がわかりました。





助成金等情報



『地域福祉を支援する「わかば基金」』

募集期間：2020年3月31日（火）必着

内容：①支援金部門 ②災害復興支援部門 ③リサイクルパソコン部門

(①②) 1グループにつき、最高100万円 (③) ノートパソコン1グループにつき、3台まで

応募資格：各部門により対象が異なります。

【お問合せ】社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団わかば基金係 TEL：03-3476-5955 mail：info2@npwo.or.jp

『ドコモ市民活動団体助成事業』

募集期間：2020年3月31日（火）必着

内容：①子どもの健全な育成を支援する活動（1団体あたり上限70万円）

②経済的困難を抱える子どもを支援する活動（1団体あたり上限100万円）

- 助成対象：
- ・日本国内に活動拠点を有する民間の非営利活動団体。なお、活動実績が2年以上であること（2020/3/1基準日）
 - ・複数の団体が連携した協働事業の場合は、代表申請団体が上記の要件を満たしていることを条件とします
 - ・任意団体については、5人以上のメンバーで構成され活動状況についてホームページ、SNS等による活動状況の発信や団体情報の開示を行っている団体。また、会則、規約またはそれに相当する文書を有し、適正な事業計画書、予算・決算書が整備されており応募団体が活動する地域の中間支援組織（NPO支援センターなど活動支援団体）からの推薦があることを条件とします。
 - ・助成決定後、申請事業の活動計画に基づいた目標設定、四半期ごとの経過報告、効果検証、活動成果の作成・公表等について、実施していただける団体。
 - ・申請事業の活動状況について、団体のホームページやSNSによる定期的な情報発信実践していただける団体

【お問合せ】NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド（MCF）事務局

TEL：03-3509-7651 mail：info@mcfund.or.jp

※最新の情報や詳細は、各お問合せ先の応募要項を必ずご確認ください。

なは市民活動支援センター

市民による自主的で営利を目的としない、協働によるまちづくりのための社会貢献活動（市民活動）を行なうための拠点施設として、市民団体の方が集まりやすく連帯しやすくすることを目的としています。



なは市民活動支援センター

お問合わせ なは市民活動支援センター

〒900-0004

那覇市銘苅 2-3-1 なは市民協働プラザ 2階

TEL：098-861-5024 / FAX：098-861-5029

メール：C-KATU005@city.naha.lg.jp



会議室 料金一覧表

部屋名	収容	料金	冷房料金
会議室①	84人	¥1,300/1h	¥400/1h
会議室②	36人	¥650/1h	¥200/1h
会議室③	45人	¥650/1h	¥200/1h
会議室④	18人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑤	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑥	15人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑦	12人	¥200/1h	¥100/1h
会議室⑧	24人	¥250/1h	¥100/1h
研修室①（和室）	16人	¥200/1h	¥100/1h
研修室②	17人	¥200/1h	¥100/1h

印刷機 使用料

白黒・A3サイズ以下	¥1/枚
カラー・A3サイズ以下	¥4/枚

※内容確認のため、原則として印刷物の一部提出をお願いしております。

※印刷用の用紙もお持ちください。

※USB等のメディアからは直接印刷はできません。

